

令和 7年度 岩下病院における看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する計画

目 標

当院では、病院に勤務するすべての従事者にとって、ワークライフバランスを重視する観点から、看護師等の多様な働き方に対応し、看護職員等の就業定着を図ることを目標とする。

また、看護職員の業務負担軽減を進めるため、看護職員の業務内容を見直し、多職種との業務分担を進め、業務の連携強化することを目指す。

	令和 7 年度目標	具体的な取り組み
看護職員の勤務体制	・看護師等の有給休暇の取得率を上げる。 ・看護職員の就業環境の改善。 ・新入看護職員等の就業の定着。 ・看護業務内容の質の向上。	・看護業務の見直し、多職種との業務分担を進め連携を強化する。 ・新入看護職員への教育体制を構築し、就業の定着を図り、看護職員の就業環境を改善する。 ・院内研修、外部研修の参加を進め、看護業務内容の質の向上に努める。
看護助手の勤務体制	・看護助手のケア技術の質の向上。 ・看護助手の就業環境の改善。 ・看護助手の就業定着。	・看護助手に対する院内研修の充実を図る。 ・外部研修への参加を進める。 ・業務内容の見直し、勤務シフトの見直し。
看護職員の勤務形態	・妊婦、子育て中、介護中の看護職員に対する配慮。	・看護職員の短時間労働制の導入。当該職員の申し出により、所定労働時間の短縮措置を講じる（最大4時間）。